

10 年間のステロイド使用後に全身症状を経て外出生活が戻った成人アトピーの経過 (33 歳女性)

症例 ID：001-30-KMk | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

就職後、顔が強く腫れたことをきっかけにステロイドを使い始めました。その後約 10 年間、かゆみや湿疹が出るたびに使用し、次第に強い製剤へ変更され、効きにくくなりました。ご友人の紹介で松本医院を受診され、治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	顔や全身の症状にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	次第に強い製剤へ変更されました。
使用期間	約 10 年間です。
中止時期	松本医院受診時に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
就職後	ステロイド開始	顔の腫れに対してステロイドを使用しました。
その後約 10 年	長期使用	症状が出るたびに使用し、徐々に効きにくくなりました。
治療開始後 3 か月	ピーク	全身に切り傷のような傷、出血、浸出液がみられ、顔が腫れて目を開けにくくなりました。
開始後約 6 か月	回復傾向	顔の腫れと皮膚症状が目立たなくなりました。
開始後約 1 年	経過後	湿疹はほとんどみられなくなりました。
開始後約 1 年半	生活変化	一部に小さな症状は出るものの、以前のような生活上の支障は少なくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後 3 か月までの、全身の傷、出血、浸出液、顔の強い腫れが続き、外出が難しかった時期です。

5. 困りごと

- 衣類が浸出液で皮膚に貼り付き、剥がす際に出血する状態でした。
- 顔が腫れて目を十分に開けられず、外出を避ける生活となりました。
- 治療初期の 3 か月は自宅に閉じこもる状態が続きました。

6. 経過のまとめ

治療開始後 3 か月は全身症状と顔の腫れが強く、外出が難しい状態でしたが、約 6 か月で顔は目立たない状態となりました。

約 1 年後には湿疹はほとんどみられなくなり、1 年半時点では小さな症状が出ることはあるものの、日常生活への負担は大きく減っていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。